

2026年1月14日

株式会社リミックスポイント

## 【事例紹介】

# 高圧 DR 電力プラン×蓄電システム導入で 電力コスト削減とリスク対策を両立

株式会社リミックスポイント（証券コード：3825、本社：東京都港区、代表取締役社長CEO：高橋 由彦、以下「当社」）は、経済産業省が推進する「令和6年度補正 業務産業用蓄電システム導入支援事業<sup>1</sup>」において、DR<sup>2</sup>メニュー（DR電力プラン）を提供する小売電気事業者として登録されています。本事業において、DR電力プランのリソースとなる蓄電システムの導入に補助金を活用できる電力会社は現在4社あり、当社はそのうちの1社です。

当社は、高圧向けDR電力プランと蓄電システムを組み合わせた当社サービス（以下「DRプログラム」）について、2025年4月より申込受付を開始し、本年度は本事業への参加初年度ながら合計7件の受注を獲得しました。

このたび、当該受注案件のうち1件について設置工事が完了しましたので、以下のとおり導入事例をご紹介いたします。

### ■導入事例

#### 【事例1】

- ・業種：製造業
- ・設置エリア：奈良県
- ・契約プラン：JEPX スタンダード DR プラン（高圧向け・市場連動型）
- ・導入設備：SolaX Power 製蓄電システム（定格容量 261kWh）
- ・導入目的：電力料金の削減
- ・電気料金削減額：320万円／年
- ・そのほかに期待する効果：電力需給の調整に貢献



<sup>1</sup> 「令和6年度補正 再生可能エネルギー導入拡大・分散型エネルギーリソース導入支援等事業費補助金（DRリソース導入のための家庭用蓄電システム導入支援事業および業務産業用蓄電システム導入支援事業）」

<sup>2</sup> 電力の需要と供給のバランスを一定にするため、電力会社とお客さまが協力して節電・創出を行う取り組み

## ■当社 DR プログラムの概要

電力を安定的に供給するためには、需要量と供給量を一定に保つ必要がありますが、電力需給がひっ迫した際などに、消費者が電力使用量を制御することで、電力の需要量と供給量のバランスを取ることを DR (デマンドレスポンス) といいます。

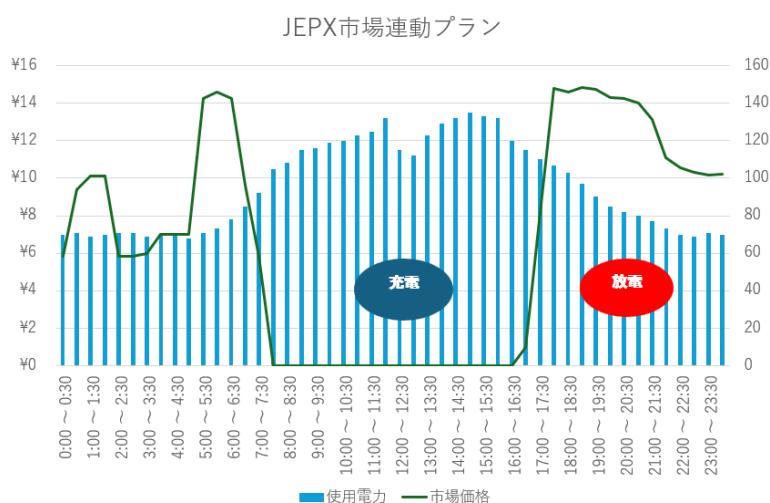
当社の DR 電力プラン「JEPX スタンダード DR プラン」にご契約のお客さまは、DR へのご協力を応じて、報酬として節電 Dr. ポイントが付与されます。さらに、市場連動型の電力プランに対応した SolaX Power 製蓄電システムをセットで導入いただくことで、当社 DR プログラムへの参加が可能となります。本プログラムでは、市場連動型プランの課題である電力価格高騰時のリスクを抑制しつつ、蓄電システム導入による経済的メリットを最大限に引き出すことが可能です。

## ■セットでおトク！蓄電システム導入による4つの経済メリット

本プログラムにご加入いただくことで、以下の4つの経済的メリットが得られます。本来、高額な初期費用を要する蓄電システムについても、補助金制度や税制優遇を活用することで、実質的な導入負担額を1/3程度まで軽減することができます。

### 1. 市場連動型プランによる価格高騰リスクを抑制

卸電力市場価格に連動して電力料金が時間帯ごとに変動する「市場連動型プラン」は、従来の固定単価型プランと比べて電力コストを抑えられる効果が期待できる一方、市場価格が高騰した際には電力料金が上昇するリスクがあります。こうした課題に対し、市場連動型プランに蓄電システムを組み合わせることで、電力価格が安い時間帯に充電し、高い時間帯に放電することが可能となり、価格高騰リスクの抑制と電力料金の削減の両立が期待できます。



### 2. 税制優遇により中小企業経営の税制面の負担を軽減

企業の生産性向上などを目的とし、中小企業の設備投資を支援する制度として「中小企業経営強化税制」があります。原則、企業が設備投資を行う場合は全額を一度に経費とせず、設備の耐用年数に応じて分割して計上されますが、即時償却が可能となることで、企業の税制面での負担が軽減されます。

### 3. 当社独自の支援策「蓄電池割」により設備導入後の月額コストを軽減

蓄電システムは初期費用に加え、運用・管理に伴う維持費用や充電にかかる電気代が発生します。当社独自の支援策「蓄電池割」では、蓄電システムの容量に応じて、充電にかかる電気代の一部を当社が負担し、導入後の月額コスト軽減を支援します。

### 4. 補助金制度の活用により初期費用負担を軽減

経済産業省が推進する「令和6年度補正 業務産業用蓄電システム導入支援事業」により、補助率1/3の補助金を活用することが可能です。

※本補助金を小売型で申請する場合、本補助金に登録された小売電気事業者が提供する登録DRメニュー(DR電力プラン)への加入が必要となります。

## ■今後の展望

当社は来年度も本補助金における小売電気事業者としての登録を予定しており、来期は30~40件程度の受注獲得を目指しています。

今後は、運用開始後の電力コスト削減結果などについても、順次情報発信を行ってまいります。

これからリミックスポイントグループの取り組みにご期待ください。

## ■リミックスポイントについて

リミックスポイントは、社会と環境へ新しいスタンダードの提供を目指し、脱炭素を推進する東証スタンダード上場企業です。主力とする電力小売業をはじめ、補助金・省エネコンサルティング、蓄電池などの多角的な事業を展開。カーボンニュートラルの実現に向けて、エネルギー活用全般に幅広く取り組んでいます。さらに、2024年からは円に代わる資産としてビットコインを中心とした暗号資産の備蓄を開始し、現在は国内有数のビットコイン保有企業としても注目されています。リミックスポイントグループでは、エネルギー分野と暗号資産分野の知見を活かし、「エネルギー×デジタルアセット」の両軸から、持続可能な社会の実現に貢献するサービス・事業を展開してまいります。

公式サイト：<https://www.remixpoint.co.jp/>

X（旧Twitter）：[https://x.com/remixpoint\\_x](https://x.com/remixpoint_x)

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社リミックスポイント

広報窓口

mail：[communication@remixpoint.co.jp](mailto:communication@remixpoint.co.jp)